

令和3年 8月26日(水)

近畿コンピュータ電子専門学校 学校関係者評価委員会 報告書

学校法人ヒラタ学園
近畿コンピュータ電子専門学校
学校関係者評価委員会

学校法人ヒラタ学園 近畿コンピュータ電子専門学校 学校関係者評価委員会は、自己評価委員会において作成された「2020年度 学校自己評価報告書」に基づき、学校関係者評価を実施いたしましたので、以下の通り報告いたします。

記

1、学校関係者評価委員

委員氏名	所 属	備考
中西 良雄	堺電気工事工業協同組合 顧問	業界団体関係者
仲田 浩和	都築電気株式会社 大阪支店 総務部 部長 兼 総務課長	業界企業関係者
高野 眞逸六	タカノアドブレインマーケット 代表	業界企業関係者
楠瀬 修一	株式会社ソフテム 執行役員 関西営業所長	業界企業関係者 卒業生

2、学内委員（事務局）

平野 考一	近畿コンピュータ電子専門学校 校長
田上 貴之	近畿コンピュータ電子専門学校 プログラマ学科科長
脇坂 慎也	近畿コンピュータ電子専門学校 クリエイタ学科科長
中田 裕一	近畿コンピュータ電子専門学校 電子科 科長
今村 和江	近畿コンピュータ電子専門学校 キャリアサポート課 課長

3、学校関係者評価委員会の実施状況

1) 学校関係者評価委員会実施日時・場所

日時：令和3年 8月26日(木) 10:30~12:30

場所：近畿コンピュータ電子専門学校 (オンライン実施)

2) 議事

- ・開会 挨拶

- 学校関係者評価委員自己紹介 学内委員自己紹介
- 学校関係者評価の進め方説明
- 自己評価結果の解説とその評価
 - ①教育重点項目 解説
 - ②教育理念・目標 評価結果の解説
 - ③学校運営 評価結果の解説
 - ④教育活動 評価結果の解説
 - 評価結果の判定（評価）
 - ⑤学修成果 評価結果の解説
 - ⑥学生支援 評価結果の解説
 - 評価結果の判定（評価）
 - ⑦教育環境 評価結果の解説
 - ⑧学生の受け入れ募集 評価結果の解説
 - ⑨財務 評価結果の解説
 - ⑩法令等の遵守 評価結果の解説
 - ⑪社会貢献・地域貢献 評価結果の解説
 - 評価結果の判定（評価）
- 在校生アンケート結果報告
 - プログラマ学科、情報クリエイタ工学科、クリエイタ学科
 - 電子科、電子研究科
- 企業アンケート結果報告
 - キャリアサポート課
- 学校関係者評価の総評と意見交換
- 終了

3) 学校関係者評価委員会議事内容

3.1 教育理念・目標 評価平均 4.0 (適切)

- 教育理念・目標の自己評価について評価委員からの異議はありません。

3.2 学校運営 評価平均 4.0 (適切)

- 学校運営の自己評価について評価委員からの異議はありません。

3.3 教育活動 評価平均 4.0 (適切)

- コロナ禍の状況下であるが、学修を止めることなく実施できている。
- オンライン下では、きめ細かな学生指導や状況把握が必要である。
- 教育活動の自己評価について評価委員からの異議はありません。

3.4 学習成果 評価平均 4.0 (適切)

- グループウェアを使用し、直近の卒業生との情報交換を実施している。
- 企業アンケートなどを実施し卒業生の中から代表者を選んで情報を収集把握し、フィードバックを行い次年度の教育活動に練りこんでいる。
- その他、学習成果の自己評価について評価委員からの異議はありません。

3.5 学生支援 評価平均 4.0 (適切)

- 学生相談について、担任や副担任、就職担当などで対応、また企業からの講師の方にもご協力いただいている。
- グループウェアを活用した学生が相談が出来るやすい環境を整えている。
- その他、学生支援の自己評価について評価委員からの異議はありません。

3.6 教育環境 評価平均 4.0 (適切)

- インターシップは、企業ニーズを踏まえた知識や技術の習得とキャリア教育の一環として、教務とキャリアサポートが連携し積極的に計画整備している。
- その他、教育環境の自己評価について評価委員からの異議はありません。

3.7 学生の受入募集 評価平均 4.0 (適切)

- 受入れ募集の自己評価について評価委員からの異論はありません。

3.8 財務 評価平均 4.0 (適切)

- 財務の自己評価について評価委員からの異議はありません。

3.9 法令等の遵守 評価平均 4.0 (適切)

- 自己評価の実施と問題点の改善、評価結果の公開について、自己評価及び評価委員会を開催し指摘を受け改善している。また、自己評価結果もホームページにて公開している為、評価します。
- 法令等の遵守の自己評価について評価委員からの異議はありません。

3.10 社会貢献・地域貢献 評価平均 3.3 (ほぼ適切)

- 社会貢献・地域貢献の自己評価について評価委員からの異議はありません。

○総合評価（学校評価・改善に対する意見）

- コロナ禍の影響もあり、地域貢献など講座やイベント開催も難しくなっているが、実施検討は継続して行ってほしい。
- SNS 等での、安易な情報投稿（秘守義務や許諾得ず）や情報の危険性の教育もあわせて行ってほしい。
- コロナ禍の中で、在宅勤務の形態も多く、会議や打ち合わせなどでは対面とは異なるコミュニケーション力も必要となるため、1つには絞れないがツールの使い方や Web での接し方教育の実施も必要である。
- 人口減少による担い手が不足していく。職種にもよるが社会ニーズは増加するので、継続して高い技術を持つ学生の育成を行ってほしい。
- リモートによる就業形態と同じく、学修の形態も大きく変化していくと予想される。そうした変化に臨機応変に対応していける教育環境作りを検討する必要性があるのではないかと。
- WEB 面談では対面とは異なり、画面に映る表情や話し方だけで評価されがちな面もある。映り方や目線、話し方など今までとは異なる指導方法が必要になるので、そうした対応もしていただきたい。

以上